ACサーボアンプ MR-J5シリーズ セキュリティポリシー未設定警告追加のお知らせ

平素は、三菱電機ACサーボシステムに対し格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
このたび、ACサーボアンプにおきましては、製品セキュリティ向上を目的としてセキュリティポリシー未設定警告を追加させていただきますので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 対象機種

MR-J5シリーズ（MR-MD333G(-N1) を除く）

2. 変更理由

対象機種のMR-J5シリーズは、工場出荷状態ではセキュリティポリシーが設定されていません。セキュリティ機能の使用方針に応じたセキュリティポリシーが未設定のまま使用することを防止するため、サーボアンプの初回電源投入時に発生する警告を追加します。

3. 変更内容

(1) 変更詳細

・工場出荷状態で初回電源投入時に発生する警告［AL. 0F8.1 セキュリティポリシー未設定］を追加します。
・セキュリティ機能の使用方針を設定するため、サーボパラメータ［Pr. PA40 セキュリティポリシー］を追加します。［Pr. PA40］を下記表のとおり設定してください。サーボパラメータの詳細については、次ページの「(2) パラメータ詳細」を参照ください。
・セキュリティポリシー未設定状態では、セキュリティポリシー設定および一部の機能しか使用できないため、その状態のまま運用することはできません。セキュリティポリシーを設定すると［AL. 0F8.1］は解除されます。
［AL. 0F8.1］はアラーム履歴に記録されます。他のアラームが発生している場合、サーボアンプのLED表示にはそのアラームが優先して表示されるため、本警告の発生はアラーム履歴にて確認してください。
・既存設備への影響については、次ページの「(4) 既設装置への影響」を参照ください。

	セキュリティ機能を使用しない場合	セキュリティ機能を使用する場合
変更前	セキュリティポリシーを設定する必要はありません。	セキュリティポリシーを設定する必要はありません。
変更後	［Pr. PA40］に "0"（ポリシー1）を設定してください。	［Pr. PA40］に "1"（ポリシー2）を設定してください。 併せて、セキュリティユーザを登録し、リスクアセスメント結果に応じてセキュリティパラメータを設定してください。

発行日付	2026年11月	件名	ACサーボアンプ MR-J5シリーズ セキュリティポリシー未設定警告追加のお知らせ	三菱電機株式会社名古屋製作所

〒461-8670
名古屋市東区矢田南5-1-14　℡(052)721-2111大代表

(2) パラメータ詳細

追加するパラメータの詳細を以下に示します。

番号	略称	名称	工場出荷状態	設定範囲
PA40	SECPOLI	セキュリティポリシー	-1	-1 ～ 1

セキュリティポリシーを設定してください。
-1: ポリシー未設定
0: ポリシー1
1: ポリシー2

ポリシー未設定の場合、[AL. 0F8.1 セキュリティポリシー未設定] が発生します。いずれかのポリシーを設定してください。セキュリティ機能を使用しない場合はポリシー1、セキュリティ機能を使用する場合はポリシー2を設定してください。

ポリシー未設定の場合、下表の設定方法で設定値を変更できます。また、設定方法によって、設定可能な値が異なります。
セキュリティポリシー設定後はセキュリティポリシーを変更できません。セキュリティポリシーを変更する場合、MR Security Policy Settingでセキュリティポリシーを初期化してポリシー未設定の状態に戻した後、再設定してください。

設定方法	設定値								
	MR-J5_-_G_			MR-J5_-_B_			MR-J5-_A_		
	"-1"	"0"	"1"	"-1"	"0"	"1"	"-1"	"0"	"1"
MR Configurator2	×	○	○	×	○	○	×	○	○
オブジェクトディクショナリ	×	○	×	-	-	-	-	-	-
パラメータ自動設定	×	○	○	-	-	-	-	-	-
GOT	×	○	×	-	○	-	-	-	-
コントローラ経由でのサーボパラメータ設定	-	-	-	×	○	×	-	-	-
操作部（押しボタン）	-	-	-	-	-	-	×	○	×
通信機能（三菱電機汎用AC サーボプロトコル）	-	-	-	-	-	-	×	○	×

※ ○: 設定可　×: 設定不可　-: 非対応

オブジェクトディクショナリで設定する場合、設定値変更後に［Store parameters (Obj. 1010h)］を使用してサーボパラメータ設定値を不揮発性メモリに保存してください。

(3) 警告詳細

追加する警告の詳細を以下に示します。

・警告番号/名称: [AL. 0F8 セキュリティ設定警告]
・警告内容: セキュリティ機能の設定に不備がある。

詳細番号	詳細名称	発生要因	調査・処置方法	対象
AL. 0F8.1	セキュリティポリシー未設定	セキュリティポリシーがポリシー未設定になっている。	使用方針に応じて、セキュリティポリシーにポリシー1またはポリシー2を設定してください。	MR-J5シリーズ (MR-MD333G(-N1) を除く)

(4) 既設装置への影響

(a) セキュリティ未対応のサーボアンプ（G0版より古いファームウェアバージョン）を対応したサーボアンプ（G0版以降のファームウェアバージョン）に交換する場合

1) 製品セキュリティ対応後の工場出荷品に交換した場合、セキュリティポリシーが未設定のため、初回電源投入時に［AL. 0F8.1］が発生します。

2) 既設装置を従来どおりセキュリティ機能を使用せずに運用する場合、従来の立上げ手順に従って設定してください。立上げ時の設定方法については、次のいずれかを実施してください。
・作成済みのパラメータファイルを設定する。
・既存の設定でパラメータ自動設定を実行する。
これにより、［Pr. PA40］に ″0″（ポリシー1）が設定されるため、追加の設定は不要です。

3) これまでセキュリティ機能を使用していなかった既設装置で新たにセキュリティ機能を使用する場合、立上げ時に［Pr. PA40］を ″1″（ポリシー2）に設定してください。″1″（ポリシー2）を設定する場合、2026年12月リリース予定のMR Configurator2（ソフトウェアバージョン1.175H以降）を使用してください。

(b) セキュリティ未対応のファームウェア（G0版より古いバージョン）から対応したファームウェア（G0版以降のバージョン）にアップデートする場合

1) セキュリティ未対応のサーボアンプをセキュリティ対応したファームウェアバージョンにアップデートした場合、［Pr. PA40］には ″0″（ポリシー1）が設定されます。そのため、セキュリティ機能を使用しない既設装置は従来と同様にご使用いただけます。

2) セキュリティ未対応のエンジニアリングソフトウェアで作成したパラメータファイルを設定した場合も、［Pr. PA40］には ″0″（ポリシー1）が設定されるため、セキュリティ機能を使用しない既設装置の動作に影響はありません。

3) セキュリティ機能を使用する場合、MR Security Policy Settingでセキュリティポリシーを初期化した後、［Pr. PA40］に ″1″（ポリシー2）を設定してください。

4. 変更時期

2027年1月生産分より順次変更を実施いたします。
なお、変更前後の製品が流通段階で混在する場合がございますので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。